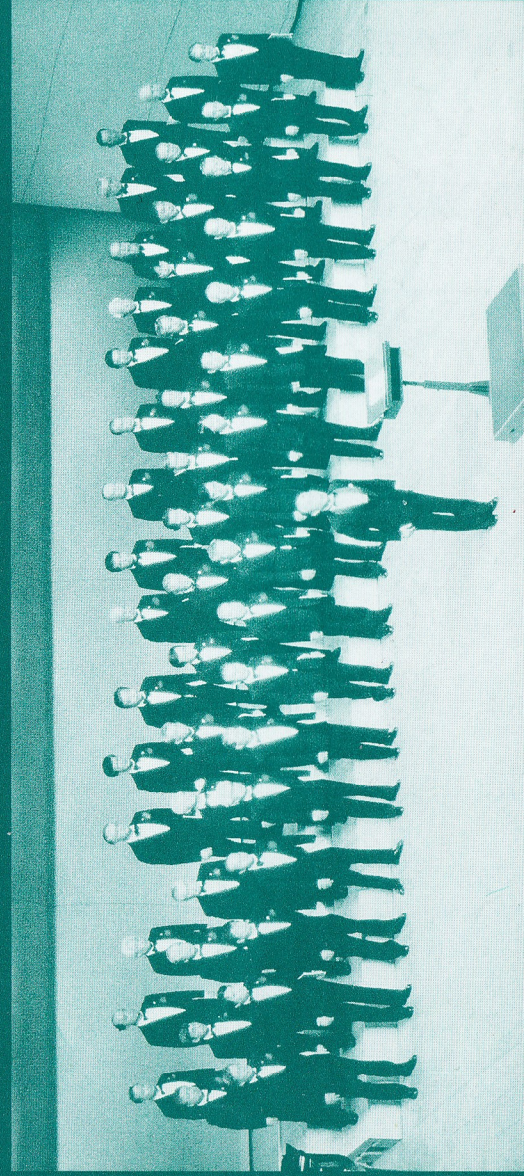




# 小田原男声合唱团

## 第29回定期演奏会



**2000.10.21(土)**

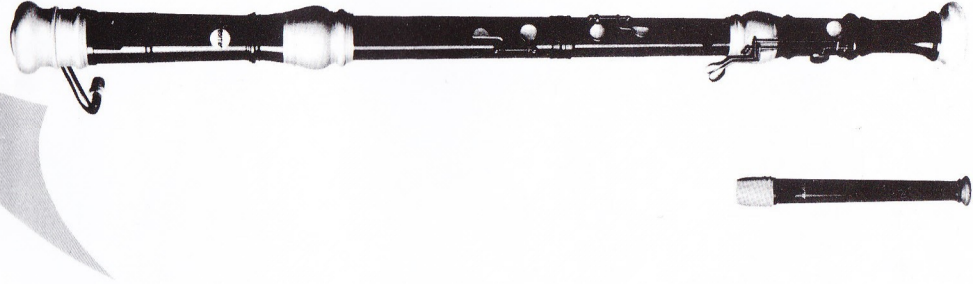
**16:30開演**

小田原市民会館大ホール

主催 小田原男声合唱团  
後援 小田原市教育委員会

ALUES®

fromクライネ  
toバス。アウロス。



シンフォニー No. 501 S シンフォニー No. 533

アウロスが誇る超精密密着の結晶。  
格調高いバロック調のデザイン。

奏者に伝える絶妙のグロイディング。  
世界一流スレーヤー総製の名器。

ソプラノ・アルト・リコーダー全機種  
**新香案・指かけ付!**

♪全機種、バグパイプ、フルート、クラリネット、サックス、ソプラノフルート、アウロス200円  
別冊付

**トヤマ楽器製造株式会社**

東京本社 〒174-0061 東京都板橋区大原町41

TEL 03-3960-8301 代

大阪営業所 〒541-0057 大阪府中央区北久宝寺町2-17

本町和光ビル802号 TEL 06-364-7181 代

# 21世紀をクリエイティブする

## パートナーとしてお手伝いします

有限会社 **タイムトゥエンティワン**

本社 〒259-1315 神奈川県秦野市柳町2-8-21 TEL 0463-88-5521 FAX 88-5721

工場 〒220-0207 神奈川県津久井郡津久井町中野1769 E-mail:time21@mx8.ttcn.ne.jp

### ごあいさつ

小田原男声合唱団団長 松本和夫

今宵も大勢のお客様をお迎えして、第29回定期演奏会を開催できまこと、心からお礼を申し上げます。

近年、全国それぞれの地域で男声合唱団が結集し、数多くの演奏会が開催されるようになって参りました。私共も、昨年4月に第3回神奈川男声合唱協会（KAMCA＝カムカ）演奏会をハーモニーホール座間で、10月に日本男声合唱協会（JAMCA＝ジャムカ）演奏会を香川県民ホールで行いました。また、今年2月の合唱フェスティバル＝男の響き大集合＝では、県下には沢山の男声合唱団があり、それぞれにユニークで立派な活動をしていることを知り、大変うれしく心強く感じました。将来がますます楽しみになって参りました。

さて、来年2001年、私共オダダンは創立30周年を迎えます。それらを記念して年誌の編纂、委嘱作品の制作、記念演奏会などの準備も進められているところです。なかでも委嘱作品については、小田原ゆかりの詩人、大木惇夫の詩（この地域を象徴した詩）に、日本の男声合唱曲の第一人者として知られる多田武彦先生に作曲をお願いし、初演いたしました。

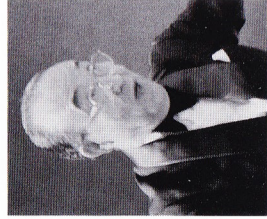
2001年の主な行事としては、4月8日（日）第4回KAMCA演奏会in横浜みなとみらい大ホール、11月に小田原男声合唱団創立30周年記念演奏会、11月24日（日）JAMCA演奏会in金沢（石川県立音楽堂＝新ホール、2001年オープン）等が予定されています。男声合唱への熱き想い、一人でも多くの男声合唱ファンが増えることを願いがら、これからも歌ってゆきます。元氣を取り戻しつつある男たちにどうぞ声援を御願いたします。

今回のプログラムでは、メンデルスゾーン「タベの祈り」にチェロ浦井勝美氏（小田原市出身）、コントラバスに那須野直裕氏にご協力をいただきました。他の曲はア・カペラの曲です。《いいハモリ》をめざし、今回は、特に発声を二期会の大森良一先生にお願いしました。

おとなの男声合唱の声のひろがり、深さ、響きなど、皆様のお耳に快いくハモリンをお届けできるよう頑張ります。

これからも、皆様の心に残る「オダダン」となるよう精進してまいりたいと思っております。どうぞご声援をお願いいたします。

ありがとうございます。



## 外山 浩爾

日本楽壇の功労者外山国彦氏を父に、指揮者外山雄三氏を兄に持つ音楽一門の出身。幼年の頃から父国彦氏や有馬大五郎、岡田九郎両氏により本格的な音楽教育を受けた。東京芸術大学声楽科に入学、柴田睦睦、ウーファー・ペニヒ、リア・フォン・ハッサート諸氏に師事し、卒業後直ちに同大学及び同付属高校で教鞭をとる。その傍ら藤原歌劇団の活動に参画し、「カルメン」をはじめ多くのオペラに出演した。東京芸術大学、鳴門教育大学において後進の指導に当たると共に、全日本合唱連盟の活動推進に力を注ぎ、92年には文部大臣より教育功労表彰を受けた。1996年より、小田原男声合唱団の音楽監督、常任指揮者に就任、同団の音楽性向上に情熱を傾けている。



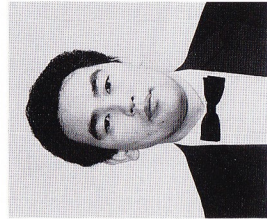
## 栞原 正人

1969年千葉に生まれる。東京芸術大学音楽部指揮科において、指揮を遠藤雅古、フランシス・トラヴィスの両氏に、ピアノを小林睦子氏に師事。NYK交響楽団、茅ヶ崎交響楽団、藤沢市民オペラ、女声合唱団“湘南の風”などで活動中。来年は秦野市民交響楽団で指揮をする。1996年からは小田原男声合唱団指揮者として、その若々しい指導で団員をおおいに刺激するばかりでなく、絶大な信頼を得ている。



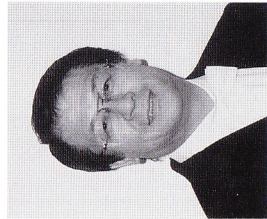
## チエロ : 浦井 勝美

東京芸術大学音楽部別科を経て1981年、新日本フィルハーモニー管弦楽団に入団。小澤征爾、井上道義、両氏の指揮の下でオーケストラにおけるチェロの研鑽を積む。その間、小澤征爾指揮のヨーロッパ演奏旅行に参加。1986年、同楽団を退団しフリーとなる。1989年、湘南ソリステン（湘南の独奏者達）を結成し東京、神奈川各地で活動開始。1990年、新日本フィルハーモニー管弦楽団を結成する。1995年、96年とNHK-FM「土曜リサイタル」に出演全国放送される。これまでに、佐久間豊春、倉田澄子、三木敏之、の各氏に師事。現在、湘南ソリステン主幹、新日本フィルハーモニー管弦楽団副団長、G・ボッセ氏指揮の小田原室内合奏団団員の他、ソロ及び室内楽などで活躍中。



## コントラバス : 那須野 直裕

1969年島根県に生まれる。10才よりコントラバスを始め、1988年、東京芸術大学音楽部別科に入学。1990年、同大学音楽部器楽科に入学。長島義男氏、江口朝彦氏に師事。在学中よりジャパンチェンバーオーケストラ、水戸室内管弦楽団などに出演。1994年、同大学卒業。1999年、日本音楽コンクール作曲部門の演奏会において、コンクール委員会特別賞受賞。現在、東京芸術大学音楽部非常勤音楽講師を勤める傍ら、湘南ソリステンのメンバーとして、ソロ及び室内楽を中心に活躍中。



## ボイストレーナー : 大森 良一

日本大学工学部に学んだ後、7年間の会社勤務を経て東京声専音楽学校（現・昭和音楽芸術学院）卒業、同オペラ研究科終了。20年近くにわたり二期会合唱団のリーダーを務め、牽引役を果たしながら二期会のほとんどのオペラ公演に出演。また、藤原歌劇団やNHK招聘イタリア歌劇団の公演にも出演。ウィーン・フィル、コンセルトヘボウ、N響、読売響、東京フィルなど国内外の著名オーケストラの演奏会出演は2500回を超える。1989年に團伊玖磨のオペラ「ちゃんちき」の一員としてヨーロッパ各地を歴訪、91年「魔笛」北京公演参加。独自のコンサートや音楽プロデュースも数多く手がけている。新国立劇場合唱団団員、湘南演奏家協会及び二宮演奏家協会会長。

# プログラム

## 1 ロバートショウ編曲による「小学唱歌」

Alice Parker、Robert Shaw 編曲

指揮 兼原正人

- I Die Lorelei
- II Believe Me, If All Those  
Endearing Young Charms
- III Home, Sweet Home
- IV Auld Lang Syne
- V Comin' Thro' the Rye
- VI Treue Liebe

ローレライ  
春の日の花と輝く

癒生の宿  
蛍の光  
故郷の空  
まことの愛

ジルヒャー作曲  
アイルランド民謡

ビショップ作曲  
スコットランド民謡  
スコットランド民謡  
ドイツ民謡

近藤朔風 訳詞  
堀内 敬三 訳詞

里見 義 作詞  
作詞者不詳  
大和田 建樹 作詞  
龍田 和夫 訳詞

## 2 「人間の歌」

指揮 外山浩爾

- I 縫いつける
- II 涙の塩
- III 浜の足跡
- IV まだ一つ
- V 木がらし
- VI 宮城野ふみ

堀口 大学 作詞、多田 武彦 作曲

—— 休憩 ——

## 3 メンデルスゾーン男声合唱曲集より

メンデルスゾーン 作曲

指揮 兼原正人、チエロ 浦井勝美、コントラバス 那須野直裕

1. Tükisches Schenkenlied  
トルコの酒のみの唄
2. Wasserfahrt  
舟旅
3. Vespergesang  
夕べの祈り

作品 50-1  
作品 50-4  
作品 121

- I Allegro moderato
- II Adagio
- III Con moto
- IV Adagio
- V Andante

## 4 合唱による風土記「阿波」

指揮 外山浩爾

1. たいしめ (騎締)
2. 麦打ち
3. もちつき (餅搗)
4. 水取り
5. たたら (踏鞴)

三木 稔 作曲

# 曲目解説

## ロバート・ショウ編曲による「小学唱歌」

竹山道雄作「ビルマの堅琴」に、停戦を知らずに最後の抵抗を試みる日本軍と、武装解除のために砲撃もまたやむなしと考える英国軍の将兵たちが、「埴生の宿」や「故郷の空」をとともに歌う場面がある。もちろんフィクションだが、こうした想像も不自然でないほどこれらの曲がわれわれ日本人の心に溶け込んでいるという証左であらう。

日本のうたと呼ぶのはおかしい事だけれども、もともと国境の無い音楽の事だから、外国の曲で、いつの間にか日本の曲と同じように多くの人に歌われていて、おそらく歌っている人達もそれが外国の曲だと意識しないようになってしまった歌が沢山ある。(中略)

明治の初期に、洋楽の先駆者達が最も困ったことの一つは、音楽教育に用いるための歌が無い事だった。(中略) そこで、教科書には、さしさわりの無いアメリカやイギリスの“ホームもの”を選んだり、さしさわりのあるものは、全く関係の無い日本的な歌詞を作って当てはめる事が盛んに行われたわけである。

「蛍の光」を外国で聞いた日本人が、日本の歌も随分外国に進出しているものだと驚いたという笑話も、明治時代に入って来て日本風に衣替えした歌が、多くの人に日本の歌だと思われている事を物語っている。(團伊玖磨「好きな歌嫌いな歌」)

このステージで歌われる6曲は厳密にいえば小学唱歌でないものも含まれているが、明治の洋楽導入以来歌い親しまれてきたおなじみの愛唱歌ばかりである。何分にも文語体歌詞は今となつてはいささか難解でアクセントが無視され、メロディに乗せると意味の通じにくいものもあるが、あえてなつかしい歌詞のままとした。童謡、唱歌は今静かなブームだという。おいで願った多くの方々が懐メロとして受け取って下さるとしても、歌う側のわれわれとしては祭歌祭のごとく、“昔は良かった。私も自慢の声張り上げて……”歌えばいいというものではない。懐古趣味的な童謡・唱歌を歌う会とは一線を画す意味から合唱としてより高度な仕上がりを目ざして男声合唱の醍醐味を表したものにしたいと念願している。

### I ローレライ

ハイネの詩にジルヒャーが作曲したこの曲はもはやドイツ民謡と言ってもよい。ライン河中流の巨岩にまつわる、美女ローレライの物語は、ハイネのオリジナルではなく、ロマンス派の詩人ブレンターノの創作であった。わが国では明治42年発行の「女声唱歌」に近藤朔風訳で登場して以来、多くの人々の愛唱歌となった。

## II 春の日の花と輝く

17世紀ごろ作られたアイルランド民謡に詩人トーマス・モアが詩をつけたもので、“信じてくれたまえ、若さにあふれた愛らしい魅力が色あせ、消え去っても私の心は変わることはない”と歌う優美な愛の歌。1行おきに美しく脚韻を踏む原詩のおもむきよく楽しい故郷の家にまささるところがあるだろうか”と歌う原詩は、ジャズソング「私の青空」に通じる何かがある。

## III 埴生の宿

ビショッパの「なつかしい我が家」に里見義が作詩したもので、明治22年の「中等唱歌集」に入っている。原詩に忠実に作られており、訳詩第1号というべきかもしれない。“どんなに貧しくても、懐かしよく楽しい故郷の家にまささるところがあるだろうか”と歌う原詩は、ジャズソング「私の青空」に通じる何かがある。

## IV 蛍の光

日本最初の官制教科書「小学唱歌集」(明治14年)に載っている曲、スコットランドの民謡にロバート・バーンズが加筆したと言われる「なつかしき昔」で“なつかしい昔の友がどうして忘れられるだろうか。友よ、なつかしい思い出の日々に、さあ杯を上げよう”と歌う。高見順の小説「故旧忘れ得べき」の題もこの曲を踏まえている。我が国では別れの歌として、「今日の日はさようなら」や「贈る言葉」「未来へ」が現れるまでは「仰げば尊し」とともに卒業式の歌の定番であった。

## V 故郷の空

スコットランド民謡「ライ麦畑」が明治21年の「明治唱歌」で遠く故郷を思いやしみじみとした曲に変わった。スコッチ・スナップと呼ばれるリズムも日本風に変えられたが、付点音符のリズムをそのままに、歌詞も原詩に忠実な「誰かが誰かと」としても歌われてきた。

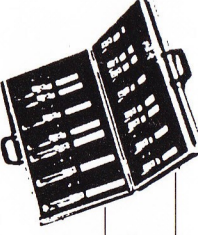
## VI まことの愛

このステージ唯一のドイツ民謡。恋人の心変わりを恐れた乙女に、若者が誠実な愛を誓うテューリンゲン地方の伝承詩をテキストにキュッケンが曲をつけた。“姉妹賞でてつくる同じ表の色にも……”という旗野十一郎の詩で長く歌われてきたが、唱歌というにはこちらのほうがむしろふさわしい。

# はじめて出逢う・音楽のよろこび



ソプラノからバスまで13機種。  
演奏性・用途に合わせた  
メロディオン。



創造するよろこびが、音楽のよろこび。

トーン・チャイム。



株式会社 鈴木楽器製作所

〒430-0852 浜松市鎮家2-25-11 TEL.<053>463-6601

鈴木楽器販売株式会社

東京支店:東京都品川区西五反田7-22-17 TEL.<03>3494-3937

## 男声合唱曲「人間の歌」

またしても金太郎始と、お叱りを受けそうで恐縮だが、一昨年、昨年に引き続き今回定期演奏会にも多田武彦作品が登場する。“何故、いま多田武彦なのか”については、昨年のプログラムにもあるように、男声合唱の持ち味である豪放さ、力強さの対極にあるデリカシ、リリズムをたたえた存在だからである。昨今の日本語の美しさに充ち満ちたたたえたり、日本語のひびきや抑揚の乱れやうたの様変わりした存在だからである。大切に、細やかな心遣いを持って音楽にするその取り組みに敬意を表しつつ、多田作品の素晴らしさを求めて行きたい。

「人間の歌」は「月光とピエロ」や訳詩集「月下の一群」などで知られる堀口大学の詩による6曲からなる組曲である。太平洋戦争中、軍部の弾圧によって沈黙を余儀なくされた詩人が、戦後発表した最初の詩集「人間の歌」（1947）は、絶唱「母の声」をはじめとして数々の佳品に満ちているが、その中から選ばれた6つの詩はどれも、男声合唱で歌うにふさわしい。

### I 縫いつける

機知に富んだ比喩と対称の見立ての面白さ。形状、発音、感覚…… 連想の面白さと用語の巧妙さ。それらを縫いつける腕の良さを下手で、へまな針仕事と謙遜する詩人のつましいところ。

### II 涙の塩

悩みの後に残る涙の跡は、白く乾いた塩の地図。選び、迷い、行つては戻る果てのない道。昨日に続く今日の路、これもまた人生。

### III 浜の足跡

貝殻に聞く懐かしい海のひびき、さりげない比喩と連想の中に消える浜辺の恋人の足跡。砂に書いた恋文も波が消し去る。

### IV また一つ

明けの空にうすれる星の光、心の奥から夢がまた一つ消えて、遙かな空に聞こえる「秋の季節を生きてきた」一人の人間の魂の調べ。

### V 木がらし

冷たい雨の降る師走の野山を駆け抜ける木がらし。人の子の憂いを運ぶその先は地の果てか、また海の彼方か。海に出て帰るところの無い木がらし。

### VI 宮城野ぶみ

いにしえの歌枕の地、若き藤村の心の宿でもあった宮城野。日ごとに深みを増すみちのく秋色を遠き都にある師に宛てて、水くきの跡もうるわしい近況報告。

## 「メンデルスゾーン男声合唱曲集」より

合唱曲の分野におけるメンデルスゾーンは多くの作品を残している。「雲雀」や「うぐいす」「緑の森よ」などは古くから混声合唱団の格好のレパートリーだったし、コーラス仲間が「駆け落ちソング」と呼んでいた「三つの民謡」など高校の合唱団が、まさに高らかに歌っていたのである。（久世光彦氏も学生時代に演劇仲間と歌ったと「マイ・ラスト・ソング」に書いている。）男声合唱曲も20数曲ある。これらの曲については、故福永陽一郎先生は「男声合唱書法の規範となるべき完成された仕上がり」と述べられ（1977年、第6回定期演奏会解説）さらに「表面上の技術が向上し、大曲難局を征服することが可能になり、意欲ばかりが肥大するご時勢にあつて、この本来の合唱の魅力の出発点というべき佳品は忘れられていったのである。いま再び、民衆の音楽としての合唱が、社会文化の中で復興しようとしている時代にあつて、決して懐古趣味でなく、原点を踏まえる意味でも一度メンデルスゾーンに戻ることは、むしろ時代の要請ではないだろうか。」と続けておられる。20数年後、これらの曲を私たちが再び取り上げる意図もまた、ここに存すると言つてよい。

### 1. トルコの酒飲みの唄 作品50の1

作品50「男声合唱のための6つの歌」の第1曲、1839年から40年にかけて作曲され（第6曲は1842年の作）、合唱団ライプツィヒ・リダーターフェルフェラインに献呈された。テキストはゲーテの「西東詩集」（1819）の「酌人の草」にある「給仕に」と「酌をする少年に」と題された詩。この曲は古くから愛唱されてきたもので、1948年版の「ポピュラー男声合唱曲集2」にも「乾杯の歌」の題で緒園涼子の訳詞がある。

### 2. 舟旅 作品50の4

ハイネの「歌の本」（1827）の中の「帰郷」と題された草の第16番の詩が原詩。この「帰郷」という題作はそれぞれの詩に題名が付されておらず、詩の第1行の句を題名として呼んでいる。（この第2番“どうしてこんなに”が有名な「ローレライ」である。）この第16番「はるかなる」もシュレーベルトの歌曲集「白鳥の歌」第11曲「都会」と同じ詩。

### 3. 夕べの祈り 作品121

“独唱”、男声合唱、チェロとコントラバスまたはオルガンのためのレスポンスリウム（応唱）と讃歌“という副題を持つ。前2曲の世俗合唱曲と異なる純然たる宗教曲で、原題の“Vespergesang”は「晩課の歌」の意。

晩課は、ローマ・カトリック協会の修道院、司教座聖堂

AXIA きれいな色、きれいな音。

AXIA COLOR SERIES for AUDIO

MD im [7-1EIM] 80  
COLOR SERIES (data) 80  
CD-R 80 FOR AUDIO COLOR SERIES AXIA

5colors  
ピンクオレンジイエローグリーンブルーパープル  
5colors  
スカイブルーマリンブルーピンクオレンジホワイトグリーンダブル

NEW

で1日に数回行われる礼拝の一つで日没のころに行われる。応唱は司会者（聖職者）と会衆（あるいは聖歌隊）が短い章句を交互に唱える応答祈祷の形式で、ミサで歌われるグランドウエアレヤアレルヤもここから派生した楽曲形式といえる。

### 合唱による風土記「阿波」

「阿波」はまさに男の歌である。「男」は“田”と“力＝農具の耒”を組み合わせた、耕作を表す文字であり、「力仕事に耐えるもの」を意味する文字であった。舟唄、山唄、木挽唄、網曳唄などの仕事唄は労働の効率を高め、仕事の辛さ、苦しさを忘れるには不可欠のものであり、力強さを高らかに歌う男声合唱にふさわしい素材の一つであった。「阿波」は1963年10月荒木宏明指揮の東京リーダーオーファージェライインによって全曲の初演が行われた。（但し「もちつき」は1961年6月、磯部徹指揮の早稲田大学グリーククラブによって初演されている）以来多くの男声合唱団の重要なレパートリーとして歌いつがれてきた。小田原男声合唱団では1980年第9回定期演奏会に次いで2度目の演奏である。各曲の形態、内容について作曲者は次のように述べている。（音楽の出版社版「合唱による風土記 阿波」による）

#### 1. たいしめ（鯛締）

阿波の入口に当たる鳴門の鯛は、激しい潮流にもまれるがゆえに美味は天下一品と言われている。その最盛期は毎年八十八夜前後の15日から30日となっており、一網は大小数百数千尾を獲ることができ、鯛締は鯛網を引くことであり、同時に豊漁への祝唄でもある。

#### 2. 麦打ち

鳴門から白砂青松の海岸を南下すると、四国三郎と呼ばれる吉野川河口に出る。この美しい川の流域は、阿南海岸地方に対して、阿波の北方（きたがた）と呼ばれ、江戸時代から明治にかけて、表作（夏）に米を作らず藍を多く作っていたため、裏作（冬）の麦が穀物の主体となっていた。阿波藩ではこのため米が大いに不足し、藩米密輸の罪を藩に代わって一身に背負った十郎兵衛の悲劇が生まれ、近松半二の有名な浄瑠璃「傾城阿波鳴門」の史実となった。

#### 3. もちつき（餅搗）

吉野川を中流までさかのぼると、名勝土柱に近く脇町という古い町がある。農村では祝いの事に振舞餅を搗く習わしが全国的にあるが、脇町では三味線入り、しかも歌が陽旋法で三味が陰旋法という奇妙なビトナールの雰囲気で行われている。鳴き物入りということ自体は、やはりこの単純な労働に変化をもたせるための民衆の知恵であらうが、歌詞としては色々な祝儀唄が引用されこ

とが多く、末広がりの扇とか、繁殖力の多い若荷や蓐がそれぞれ具加や富貴になぞえられて用いられている。第四節は伊勢音頭の「伊勢へ七度、熊野に三度、愛宕さまには月参り」が誤伝されたものであらう。「ドンタントン」はもろろん三人の搦き手の擬音であり、最初はゆっくりに始められ、餅が搦き上がるにつれて加速される。「ゴシヤシヤンノシヤンシヤン」はいわゆる手打ち式の擬音であらうか。

#### 4. 水取り

紺がすりや藍染めのユカタの原料として古い歴史を誇った阿波藍は、「麦打ち」でもふれたように、吉野川下流の地味豊かな村で稲の代わりに三百数十年に亘って栽培されて来た。現在では化学染料に駆逐されたとはいえ、一時はその作付け面積も一万五千町歩に達したと記録されている。旧暦二月初旬に苗床に種を蒔き、五月初旬に畑に移植し、七月中旬に藍葉は刈り取りられ、細かく刻んで寝床と称する倉庫の中で発酵させてスクモを作ったり、臼で搦き固めて藍玉が作られる。「水取り」はこの一連の作業の中、畑に移植した後の灌水の時に井戸から水を汲んで畑にやる作業であり、苦しい藍栽培の中でも、単調できつい労働だったと思われる。この作品の基となった「水取り唄」は、或る老婆の声から作曲者により採譜された。そこには娘時代の生気も陽気さもなく、積み重ねられた過酷な労働の訴えに満ちて、旋律線はくずれ果てていた。その陰影を追うようにこの作品の旋律は極めて作爲的にデフォルメされて普通の民謡の旋法からはみ出している。前半の第一テノールはフアルセットにより老婆、後半のバリトンは老爺の若き若き日々の回顧として捉えることができよう。

#### 5. たたら（踏鞴）

昼間の野良仕事を終えた農民達には、その季節に応じた数々の夜の作業が残されていた。農村の自家製鉄——「たたら」もその苦役の一つである。地面に長方形の深い穴を掘り、真中に軸を置き、その両端に大勢の農民達が片足を乗せて音頭取りに合わせて交互に踏み込む。この大きなフイゴで圧縮された空気は鉄を鑄る炉に送られる。これが壮快な農民達の夜の祭典である。「たたら節」は日本各地に伝えられ、作業の規模も大小さまざまであったろうし、宴席に残る弱々しい唄もあるが、本来は極めて力感的な激しい労働が連想される。この作品では、徳島県下に残る幾つかの「たたら節」「たたら音頭」の中から言葉のみを断片的に選び出し、想像のリズム、想像の旋律によってあたたかも原始宗教の儀式のように構成されている。男声合唱のみがこのような汗と脂の渦巻く労働形態に密着する可能性を持ち得ることは当然である。



心を花で結び  
お届けします

# 花のこむぎ

株式会社

小田原市栢山2421-3 ☎ 0465-37-2882(代)



一本のこむぎ

Aspirin Max  
SPOT  
MAX  
医薬品

アスパラギン酸カリウム  
マグネシウム、鉄分、  
タウリン2,000mg  
<http://www.tenabe.co.jp/aspirin/>

## 1999~2001小田男カレンダー (予定も含む)

年月日	曜	演奏会名等	会場	指揮
99.11.6	土	第28回定期演奏会	小田原市民会館	外山浩爾、栗原正人
2000.1.2	日	箱根駅伝応援	小田原中継所	松本和夫
2000.1.16	日	小田原童謡祭	小田原市民会館	栗原正人
2000.2.6	日	神奈川県合唱フェスティバル	神奈川県立音楽堂	栗原正人
2000.5.28	日	第49回湘南合唱祭	グリーンホー相模大野	栗原正人
2000.10.15	日	第34回小田原市民合唱祭	小田原市民会館	栗原正人
2000.10.21	土	第29回定期演奏会	小田原市民会館	外山浩爾、栗原正人
2000.11.26	日	全国童謡フェスティバル	小田原市民会館	
2001.4.8	日	第4回神奈川県声合唱協会(KAMCA)演奏会	みなとみらい大ホール	栗原正人
2001.5.27	日	第50回湘南合唱祭	平塚市民センター	栗原正人
2001.10.14	日	第35回小田原市民合唱祭	小田原市民会館	栗原正人
2001.11.24	土	第15回日本声合唱協会(JAMCA)演奏会	石川県立音楽堂	栗原正人
2001.11.予定		第30回定期演奏会	小田原市民会館	外山浩爾、栗原正人

## 1999~2001演奏曲目

作曲者 (編曲者)	曲目	作曲者 (編曲者)	曲目
多田 武彦	北陸にて	Sammy Fain (源田俊一郎)	Alice In Wonderland
遠藤 雅夫	今でも...ローゼキは魔法の杖	Leigh Harline (源田俊一郎)	When You Wish Upon a Star
トポルジ ユーク(福永陽一郎)	ジブシーの歌	Frank Churchill (源田俊一郎)	Heigh-Ho
平吉 毅州	ひとつの朝	Frank Churchill (源田俊一郎)	Love Is a Song
(福永陽一郎)	I've got six pence	R. M. & R. B. Sherman (源田俊一郎)	Let's Go Fly a Kite
石井 敏	箱根駅伝応援歌	(Alice Parker, Robert Shaw)	ローレライ
多田 武彦	人間の歌	(Alice Parker, Robert Shaw)	春の日の花と輝く
メンデルスゾーン	トルコの酒のみの唄	(Alice Parker, Robert Shaw)	埴生の宿
メンデルスゾーン	舟旅	(Alice Parker, Robert Shaw)	蛍の光
メンデルスゾーン	夕べの祈り	(Alice Parker, Robert Shaw)	故郷の空
三木 稔	阿波	(Alice Parker, Robert Shaw)	まごとの愛

## 美しい合唱は人生のロマン 小田男の "MEN" BERS

### トップテノール T1

石山 誠 (藤沢)  
加藤治信 (厚木)  
西山廣木代 (二宮)  
宝子山尚生 (開成)

加藤重喜 (秦野)  
齋藤恵司 (厚木)  
長谷川幸雄 (小田原)  
松田直隆 (山北)

青野幸夫 (大磯)  
木村敬明 (岡山)  
須原清一 (小田原)  
福嶋 修 (小田原)  
山本信雄 (南足柄)

小野 豊 (秦野)  
佐藤精孝 (寒川)  
高橋 潔 (南足柄)  
藤本慎治 (小田原)  
藤本慎治 (南足柄)

(小田原)  
(二宮)  
(平塚)  
(秦野)

### バリトン B1

青野正純 (小田原)  
牛丸 紘一 (小田原)  
小沢 一 (小田原)  
菊池義彦 (小田原)  
下村興毅 (小田原)  
見尾田博樹 (小田原)

足利裕之 (湯河原)  
江川卓男 (鎌倉)  
小沢亮太 (小田原)  
杉原由一 (小田原)  
高橋茂樹 (小田原)

赤川軍一 (厚木)  
江藤剛夫 (厚木)  
桑原敏雄 (大井)  
下沢 孝 (小田原)  
千葉寛昌 (小田原)  
星野正博 (茅ヶ崎)

(秦野)  
(厚木)  
(大井)  
(小田原)  
(小田原)  
(茅ヶ崎)

(小田原)  
(二宮)  
(平塚)  
(秦野)  
(秦野)  
(小田原)  
(二宮)  
(南足柄)  
(開成)  
(小田原)  
(小田原)

## 小田原男声合唱団

音楽監督、  
常任指揮者 外山浩爾  
指揮者 栗原正人  
団内指揮者 松本和夫  
パートリーダー  
T1 日置達男  
T2 木村敬明  
B1 小沢亮太  
B2 一色義信

## 運営スタッフ

松本和夫  
長谷川幸雄  
小沢 一  
一色義信  
藤本慎治、渡辺誠之  
青野幸夫  
湯川裕光  
加藤重喜、足利裕之  
井上忠彦  
西山廣木代、田島達也

## 第29回定演スタッフ

実行委員長 青野幸夫  
事務局 井上忠彦  
会計 佐藤精孝  
演出 小沢 一  
舞台 山崎幸興  
アクト 長谷川幸雄  
プログラム 足利裕之、加藤重喜  
会場 齋藤恵司  
打ち上げ 湯川裕光

# アポロピニア

東洋ピニアノ製造株式会社

スタインウェイ&サンズ 新品、中古  
ペーゼンドルファー 新品、中古



## 井上楽器

小田原お探線通リ

TEL 24-0515